

平成20年度岡山県食品衛生監視指導計画に基づく 監視指導結果について（概要）

食品衛生法の規定により定めた「平成20年度岡山県食品衛生監視指導計画」に基づき実施した監視指導、試験検査、自主管理の推進、リスクコミュニケーションの充実についての結果は、次のとおりである。

1 監視指導結果

飲食店、食品製造施設、学校給食施設等を対象に施設・設備の衛生管理、食品の衛生的な取扱い等の指導を実施した。

対象施設数	監視目標数	監視指導結果	目標達成率(%)
25,715	23,002	23,682	103

2 試験検査結果

(1) 収去検査^{注1}

検査目標検体数	検査実施検体数	違反件数
3,300	3,439	8 ^{注2}

注1：収去検査とは、食品衛生法に基づき、流通食品を無償で譲り受け違反の有無を確認する行政検査である。

注2：違反の内容は、添加物の使用基準違反2件、アイスクリーム類の成分規格違反（大腸菌群陽性）3件、生食用かき加工基準違反（養殖海域海水の大腸菌群最確数違反）3件であった。

なお、これらについては、店頭からの撤去、加熱用への転用を指示するとともに、原因究明及び再発防止の指導等を実施した。

(2) 腸管出血性大腸菌対策

県内に流通する食品を対象に、腸管出血性大腸菌の汚染実態調査を実施したが、検査した食品すべてで不検出であった。

検体数	検出	不検出
197	0	197

(3) 買上検査

検査区分	検査項目	検査目標 検体数	検査実施 検体数	検査結果
遺伝子組換え食品検査	遺伝子組換え食品	30	32	すべて適
アレルギー物質の検査	アレルギー物質	20	20	1件不適合 ^{注3}
輸入冷凍食品等買上検査	残留農薬	30	30	すべて適

注3：パンから表示にない乳及び鶏卵由来のアレルギー物質を検出した。

なお、これについては、原因究明を行い、自主回収を指示するとともに、再発防止措置を指導し安全を確保した。

(4) 食品苦情及び食中毒発生時の原因究明のための検査

	検査実施検体数
食品苦情検査	247
食中毒検査	238

(5) と畜検査

区分	検査頭数	全部廃棄頭数	一部廃棄頭数
牛	5, 218	153	3, 278
馬	24	0	2
豚	439	1	322
めん羊・山羊	2	0	1

(6) BSE等スクリーニング検査(全頭検査)

検査頭数	陰性	要確認検査
5, 220	5, 220	0

※ めん羊2頭を含む

3 自主管理の推進

広域流通食品等事業者を中心に自主管理体制の整備等について指導を実施した。岡山県食の安全・安心の確保及び食育の推進に関する条例に基づく自主回収の報告は5件あり、公表等を通じて県内に流通する食品の安全確保に努めた。

4 リスクコミュニケーションの充実

食品の摂取によって人の健康に悪影響が起きるリスク(危険性)について正しい理解を広めるため、講習会等を通じた情報提供、消費者、食品等事業者、行政相互間での情報交換、意見交換等を実施した。

(1) 食の安全相談窓口での対応 2, 338件

(2) 衛生講習会の開催

対象者	実施回数	参加人数
営業者・従事者	105	4, 439
集団給食従事者	49	2, 502
一般消費者等	76	2, 561
計	230	9, 502

(3) 「体験!科学で知る 食の安心」事業

- ① 保健所での体験的要素を含む講習会 108回(3, 418人)(再掲)
- ② (社)岡山県食品衛生協会への委託による体験型事業 10回(581人)

(4) 食の安全サポーター拡大事業

登録者数: 50企業(51団体)
配信回数: 5回(定期: 2回、臨時3回)

(5) 「検定一晴れの国おかやまの食一」

実施日: 平成20年10月5日(日)
実施場所: 岡山県立大学
受験者数(合格者数): 145名・20組(122名・20組)
※一般検定の部、親子検定の部を実施

(6) リスクコミュニケーターの養成

講座、研修会等の開催: 4回
参加者数: 212名